



「令和2年度 鹿児島教区仏教婦人会連盟
如月忌・冬季大会・若婦人間法のつどい」
(令和3年2月9日開催)



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から
会員へはインターネットにて動画配信された

(関連記事5面)



鹿児島教区教務所長 森田 順昭
もりた じゅんしょう

3月の定期教区会での、本年度の執務方針のあらましを申し上げます。
まず、2023(令和5)年に本山において修行されます親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要につきまして、教区としましても慶讃法要事務所設置規則区令に基づき、事務所の設置と法要委員会委員を委嘱し実働体制を整えました。第一回法要委員会では、教区法要のあり方についてご意見をいただき、今後、内容を精査しながら一人でも多くの方にご参拝いただけるよう進めてまいります。

次に、実践運動の具体的な取り組みである「子どもたちの笑顔のために募金」では、昨年度、教区内より54件108万5,477円のも食堂や学習支援の実施などの活動が各組・各寺院で行われていきます。教区として各寺院に対し、引き続き積極的な取り組みと支援体制を整えてまいります。また、新型コロナウイルスの影響により僧侶研修などができないことを受

け、教区実践運動同朋部門会が中心となり研修教材「本願に合った法々部差別解消推進法」を作成いたしました。僧研の場に限らず、各寺院、各組における法座活動等にもご活用いただきたく存じます。次に、本年度は、教区護持口数について、第7次に向けた調査・調整期間となっています。教区内からは、現行の調整指数に対する疑念の声も伺っており、教区護持口数調査調整委員会にて内容の精査と検討をしております。

さて、昨今のコロナ禍により、SNSを用いて様々な情報を配信することが飛躍的に増えました。教区・別院でもYouTubeを利用しご法話や研修会などの配信を行っております。み教えが若い世代まで伝わっていくには、Instagram・LINE等のSNSツールも不可欠だと考え、まず入り口を広く、しかも入りやすくして、段階的に仏縁を深めていただくためのツールとして継続して活用してまいります。種々申しあげましたが、教区内の皆様には何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合掌

宗会議員就任にあたって

出水組西報寺 笠置 信行



このたび任期満了に伴う宗
会議員選挙において再選の栄
に浴することができました。これもひとえ
に皆さま方の温かいご支援の賜物と、衷心
より厚く御礼申し上げます。

私たちの宗門は、令和5年度の「親鸞聖
人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法
要」を前にして、激変する現代社会の厳し
い現実と向かい合わねばならない大切な時
期を迎えています。

この慶讃の二大法要の修行円成は、お念
仏の縁にある私たちが手を携えてめざすべ
きものでありますが、一方では、過疎化少
子化による寺院・門徒の減少、本山本願寺
並びに宗派歳入の漸減傾向から、宗門は早
急な財政改革の必要に迫られています。
この現状を直視して、私は以下のことに
ついて重点的に取り組んでまいります。

- ①宗門財政と宗務・寺務の健全化
- ②宗門総合振興計画の推進
- ③親鸞聖人のみ教えのグローバル化
- ④「伝える」から「伝わる」伝道へ：次世
代へのご縁づくりと女性の参画
- ⑤SDGsへの目標達成にむけて、御同朋の
社会をめざす運動を通じた活動の推進

今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしく
お願い申し上げます。

宗会議員就任にあたって

南薩組西光寺 茶屋 征夫



このたび、教区会議員方
のご推薦をいただきまして3期
目の門徒宗会議員に就任することができま
した。遅くなりましたが、関係者の皆さま
にご報告と御礼の言葉を申し上げます。

ただいま宗門におきましては、2年後に
迫りました2023(令和5)年に、親鸞聖
人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法
要が「ご縁を慶び、お念仏とともに」のス
ローガンのもとに修行されます。

コロナ禍で大変厳しい現況にあります
が、それぞれの立場で知恵を出し合い、協
力し合って、慶讃法要を成功させたいもの
と願っているところであります。

もとより、浅学非才の身ではありません
が、微力ながらも宗門繁栄、お念仏繁盛の
ため精進してまいります。

今後とも皆さまのご指導、ご鞭撻のほど
をお願いいたしまして、言葉足らずではあ
りますが、門徒宗会議員就任の挨拶といた
します。

過疎対応支援員就任にあたって

東隅組願成寺 藤 清道



この度、2020(令和2)年
11月23日付にて鹿児島教区過
疎対応支援員に任命されました東隅組願成
寺衆徒の藤清道と申します。

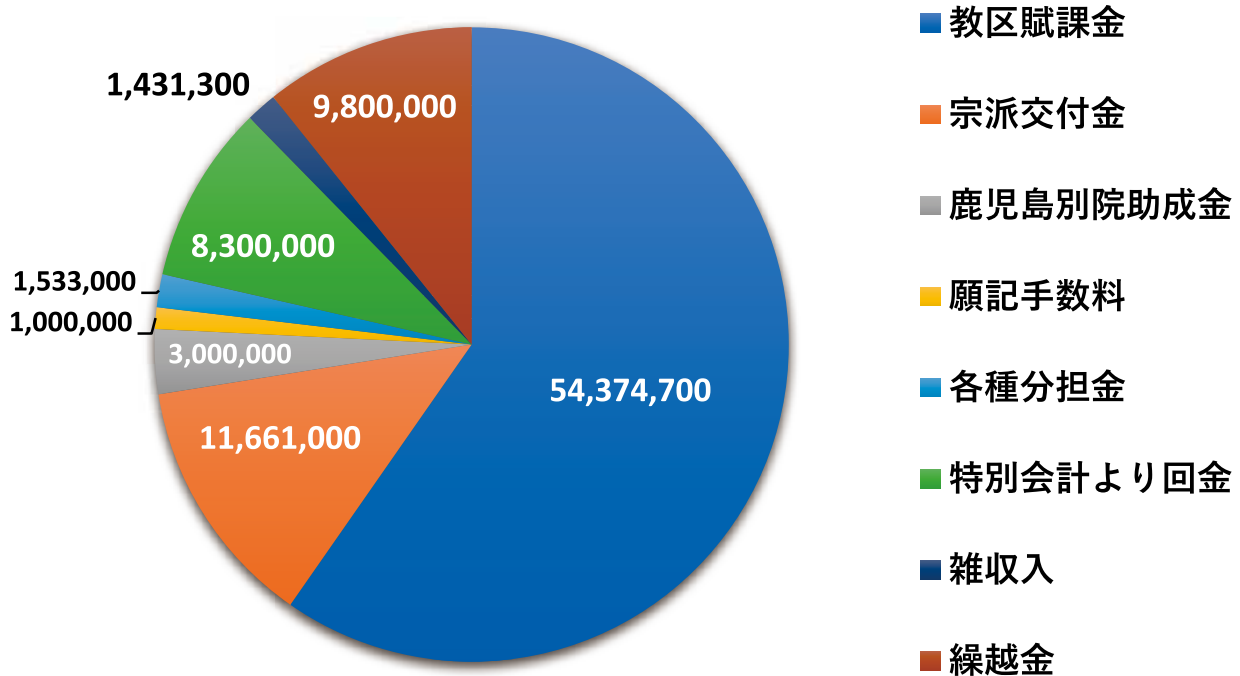
過疎対応支援員は、過疎地域などに所在
する寺院、並びに過疎化現象から生じる門
信徒数の減少などで、護持・運営が困難と
なり「寺院規程」に定める「寺院の目的」を
果たすことができない、または将来その可
能性がある寺院に対して振興及び総合的対
応を図るため教区に設置され、教区寺院振
興対策委員会と協力し、過疎化現象から諸
問題の解決・対応及び、寺院及び門信徒、
周辺地区と共同で寺おこし事業などを行う
場合の支援を行うことを、設置の趣旨並び
に活動内容とされております。

私自身も限界集落の多い過疎地域に活動
拠点を置いておくこともあり、該当される
方々の想いに寄り添った支援活動を進めて
いけるのではと考えております。

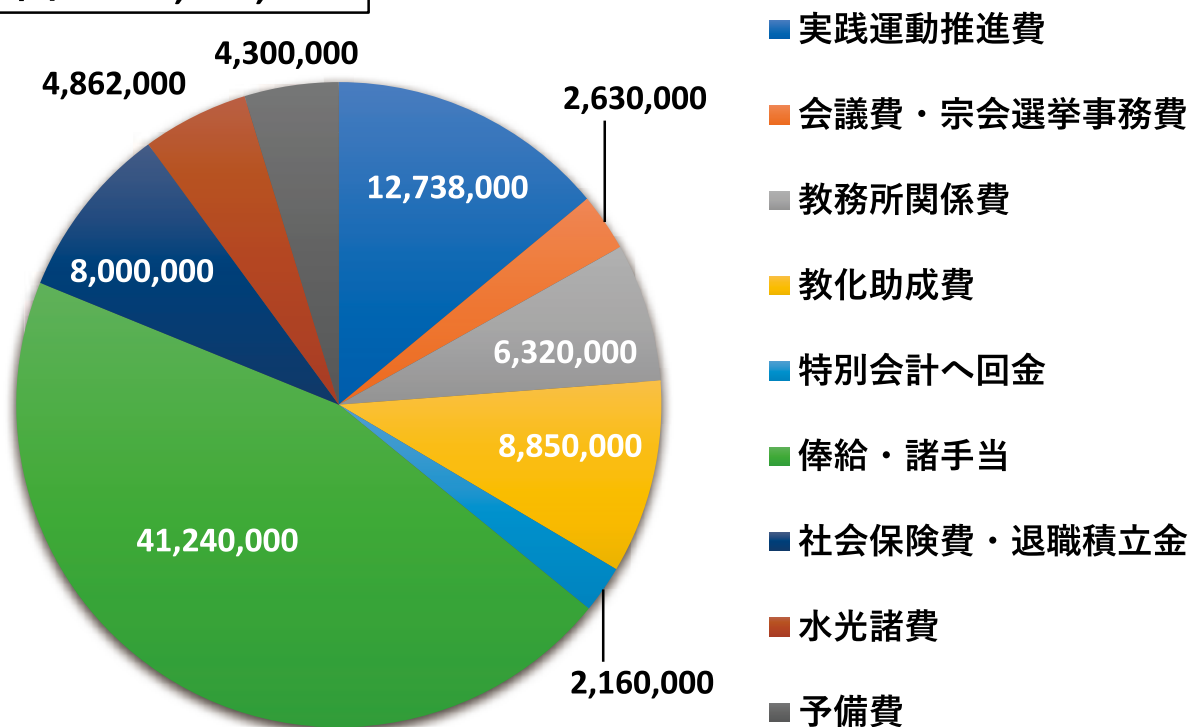
先日、鹿児島教区教務所より、鹿児島教
区過疎対応支援員のパンフレットを送付さ
せていただきましたが、再度ご清覧のうえ、
どんなことでも構いませんので、何か気
なることがありましたら是非ご相談くださ
いますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年度 鹿児島教区一般会計予算

歳入 ¥91,100,000.-



歳出 ¥91,100,000.-



詳細については、予算書をご参照ください。

『御同朋の社会をめざす運動』推進者養成講座』参加者募集

この度、同朋部門会では、『御同朋の社会をめざす運動』推進者養成講座』を開催いたします。この講座は、年3回3カ年かけて、連続的な学びをしていくものです。

2022年度に、「僧研」が始まって30年を迎えるにあたり、研修会の参加者の世代交代もある中で、今日まで積み重ねてきた取り組みを継続させるために開催します。

これまで得度習礼や教師教修、各宗門関係学校等で必ず学んでいる同朋運動の歴史や事象について、改めて共に学びを深めませんか？

講義と話し合い形式にて学習を行い、参加者一人ひとりの主体的な意欲、問題意識を確かめながら丁寧に進めていきます。

講座修了は学びのゴールではなく、それぞれの新たな学びの出発点になりますので、チラシをご覧いただき、ぜひご参加ください。

2021年度開催予定日

○6月9日(水) 講師・井上從昭さん

【同朋運動は何をめざしているのか？】

○10月29日(金) 講師・下村昭雄さん

【部落問題の現状と今日的課題】

○2月8日(火) 講師・宮山清和さん

【私にとって解放とは？】

【僧研学習資料作成】2020(令和2)年度、

コロナ禍で多くの研修会が中止となるなか、各寺院でも学びを深められるよう、学習資料として『本願に合った法』部落差別解消推進法』を作成いたしました。

2016年12月、国はいまだに部落差別が社会に現存することを認め、差別を許さないという認識のもと、部落差別のない社会の実現を目的として「部落差別解消推進法」を成立、施行しました。

しかし、この法律の認知度は2018年度の鹿児島県による人権意識調査によると、70%を超える方が「知らない」と回答しています。この法律は被差別部落の人に向けてつくられたのではなく、日本社会を構成する私たち全員に向けてつくられたものです。私たち一人ひとりがこの問題の当事者です。

2020年度は4組にて、この学習資料をもとに「人権啓発推進僧侶研修会」を開催いたしました。参加者の中でもこの法律を初めて知ったという方もいらっしゃり、この学びの大切さを確認いたしました。

各寺院に3部ずつ配布しておりますが、残部もございますので、各寺院での研修等にご活用ください。

「連研のための研究会」開催

2月5日(金)、「連研のための研究会」を開催し、コロナ禍のなかではありますが、21名の方にご参加をいただきました。

ご講師には、祁答院組善福寺の岡田晃昭氏をお招きし、「連研推進のために」とテーマを設け、お話をいただきました。

今年度、コロナ禍の影響を受け、あらゆる行事が中止されているなか、久しぶりに研修会に参加された方も多く、「班別語り合い法座」では活発な意見交換が行われ、顔を見合わせて語り合える環境があることのあることが感じることがありました。

今後も、全組における連研開催をめざし、宗教離れやコロナ禍による現代の社会問題と向き合い、その時代、その社会に即した連研のあり方を模索しながら、連研をより身近に、そして次の世代へ繋げるために教区として取り組んでまいります。



スキルアップ研修会

次世代部門長
櫻井 惇紀

3月3日に次世代部門「スキルアップ研修会」を開催させていただきました。ご講師にはインターネットで寺院の広報（PR）をされている松崎智海先生（北豊教区小倉組永明寺住職）よりご講演いただきました。

先生はインターネットについて、知識の貯蔵庫として優れており、学びの場として、とても有効であるとおっしゃっていました。ただ、だからと言って万能かと言われるとそうでもなく、布教という事、特に信心を伝えるという事については、難しい面もあると感じておられました。ですのでインターネットは、その特性をしっかりと把握し、目的を持って使った方が良くと語っておられました。先生自身、今でも試行錯誤をしながら活動を進めておられるようでした。

講演を聞くなかで特に印象に残っている事は「PRは何も特別な事ではなく、私たちの行う行動が全てPRになる」という事でした。日常の挨拶や言葉遣い、身だしなみやお勤め姿勢など一つ一つが色々な人の目に発信（PR）されているという事でした。身の引き締まる思いでした。毎日のお勤めやご門徒さんとのふれ合いなど、身近なところから丁寧に取り組んでいこうと感じる講演でした。

「如月忌・冬季大会・若婦人

聞法のつどい」に参加して

川内組安国寺 三浦 美幸

今回「如月忌・冬季大会・若婦人聞法のつどい」オンライン開催にあたり、安国寺春の永代経法要と日にちが重なったこともあり、オンライン大会をご門徒の方々と体験させていただきました。開催にあたり、皆さんが十分に見えるよう、今後のことも考えスクリーンを導入し、大きな画面にてオンライン大会に参加しました。皆さん初めての体験とあって、法要の30分前にはポツポツと集まり30名ほどのお参りとなりました。何より、スタートするまでに、かくれ念仏の紹介、説明、写真などもあり、興味深く見ておられました。

13時30分より、オンライン大会がスタートし、お念仏、勤行を共にとおきな声で唱えさせていただきました。セッポリー（セッポリー）の漫才は、本堂が大きな笑い声につつまれ、那須先生、藤岡先生のご法話では、「なまんだあーなまんだー」のお念仏が響きわたり、「笑ってあじわう仏教」の貴重なオンライン大会体験となりました。コロナ禍のなか、どんな法要をしていこうか悩んだ昨年度、今回のあらたなチャレンジ、オンライン法要をまた取り入れながら、皆が集えるお寺作りを工夫していこうと思います。貴重なご縁をありがとうございました。

「チャレンジinアース」開催

3月6日に、教区少年連盟主催「チャレンジてらこい」がオンラインにて開催され、教区内少年連盟5単体会及び1カ寺にご参加いただいた。「てらこい」とは、字の通り、「お寺に恋する」というのが目的であり、例年この「チャレンジてらこい」では、教区内の子どもたちが集い、様々な体験や仏さまのみ教えの学びを通して、人とつながり合い語り合うことの楽しさを感じてもらおう1泊2日の行程を組んで開催しているが、コロナ禍のなか、子どもたちを募るの試みとなるオンラインにてレクリエーション（なぞとき）を行った。参加した子どもたちからは、「非常に楽しかった。また参加したい。」との声があった。

次年度以降も子どもたちに楽しんでもらえるよう、進めていきたい。



仏教青年会連盟 「教区の集い」開催

3月14日に、教区仏青連盟主催「教区の集い」を参加者38名（鹿児島教区より中学生7名含む19名参加。北海道教区より19名参加）にて開催いたしました。

この度は、Zoomと任天堂Switchを用いて、まだ雪の残る札幌、函館、帯広、倶知安、釧路とつなぎ、交流をはかりました。



初めに、北海道・鹿児島両教区の青年教化指導員よりご法話をいただき、その後Switchでオリンピック競技の対戦を行いました。ご法話やゲーム以外の空き時間でもお互いの教区の情報交換をし、令和3年度開催予定の全国真宗青年の集い本山大会での再会を約束して、散会となりました。

青年層らしい、ゲームやネットを用いての開催であり、参加者からも今後、他の地域の方々との交流を望む声が挙がりました。

制作

「阿弥陀さまのお浄土を学びましょう」

保育連盟加盟園に通う園児は、日常の園での仏参などを通して阿弥陀さまとの尊いご縁を結んでいます。園児の若い保護者の世帯においては、ほとんどお仏壇が見られません。

そこで、鹿児島教区保育連盟では家庭でも阿弥陀さまを拜むことができるようにとの思いから『阿弥陀さまのお浄土を学びましょう』を制作いたしました。これは、幼児だけでなく広く各寺院の子ども会活動などでもご利用をいただけるものです。

幼少年並びに若い保護者世帯への尊いご縁作りの教化教材として、ぜひご活用いただきたいと存じます。

【販売価格】一セット（10枚）…三千元（税込）
【お問い合わせ】鹿児島教区保育連盟

阿弥陀さまのお浄土を
学びましょう



鹿児島教区仏教壮年会連盟

2021. 6. 26 sat.

@本願寺鹿児島別院



結成 50 周年記念大会

これまでの50年 これからの50年 ～感謝と創造～

「第7回 本願寺派 九州スカウト大会 in 鹿児島」開催

本年2月21日に、九州地区スカウト指導者会主催「第7回本願寺派九州スカウト大会 in 鹿児島」が開催された。大会開催地には、鹿児島教区のスカウト40名と指導者20名の60名が参加し、新型コロナウイルス感染症対策により、北豊教区・福岡教区・熊本教区の本願寺派スカウト関係者はリモートにて参加となった。

今大会では、スカウト日本連盟が取り組んでいる「平和とは何か、自分にできることは何か」を考えるきっかけ作りとして、まず少人数のグループに別れて平和について話し合ったのち、1人1枚パズルのピースに自分が考える平和の意味や気持ちを書き、最後に全員のパズルを組み合わせて「平和のパズル」を完成させた。この作品は、平和の象徴である鳩をモチーフとし、またあらかじめそれぞれに色分けされたパズルは、今年開催予定であるオリンピックのシンボルカラーをイメージしたものである。

った。完成した作品は、今大会の願いに沿った素晴らしいものとなった。
その後、熊本教区スカウトクラブの理事である寒香知軒さん（熊本教区山鹿組浄光寺住職）によるスカウトソングで、参加者はリズムに合わせて、手拍子や踊るなど、終始笑顔で楽しい一時を過ごした。



ビハーラ鹿児島「You Tubeチャンネル」開設

この大会を通じて、スカウトのつながりと新たな視点や発見があった。大会を一過性のものとせず、今大会を機縁としてスカウトのさらなる発展に繋がるよう願うことである。

ビハーラ鹿児島ではこの度、インターネットを利用し、ビハーラの理念や活動の紹介、ビハーラに寄せる活動者の思いを広く浸透させるため、You Tubeチャンネル

を開設し、令和2年12月16日より、「いのちに寄り添う」のテーマのもと、毎月16日に動画を配信しております。

「ビハーラ鹿児島」と検索していただくか、もしくはスマホでQRコードを読み取っていただき、ぜひともご視聴ください。



スマホでQRコードを読み取ってください



鹿児島へ 鹿児島別院

インターネットライブ配信 機材一式を進納

鹿児島教区懇談会

新型コロナウイルス感染症拡大で高まるインターネットによる配信をより一層進めるため、鹿児島教区懇談会(会長・藤岡義道氏)より別院へ「インターネットライブ配信機材一式」(ビデオカメラ、高性能パソコン、映像スイツチャー等)を進納いただきました。進納された配信機材を使用することで、『YouTube』を使って別院が配信している法話を高画質で撮影・配信することができるほか、法要や行事の様子をインターネットを通じて「生」でご覧いただくことができます。

インターネットを活用した伝道は感染防止の観点はもちろんのこと、離島をはじめとする遠隔地のある当教区においても非常に重要なツールとなります。



重要!!

事務所(寺院)備付け書類の写し提出について

宗教法人法第25条第4項の規定により宗教法人は、寺則に記載の毎会計年度終了後4ヶ月以内に事務所備付け書類の写しを所轄庁に提出しなければなりません。ご確認のうえ、必ず所轄庁へ提出ください。

※未提出もしくは期間外提出が続いた場合、10万円以下の過料に処せられます。

所轄庁：鹿児島県総務部学事法制課県民情報係

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県庁内

— 提出にあたっては、持参もしくは郵送でも可能です —

鹿児島教区教務所 ひとの動き

お世話になりました

平戸 宏祐【退職】

よろしくお願ひします

大島 光海【鹿児島別院教化部より】

昨年の台風10号による被災寺院より、申請のありました寺院に対し、見舞給付が決定いたしましたので、お知らせいたします。

- ・揖宿組大光寺 本堂一部損傷(大) 10万円
- ・川内組正浄寺 庫裏一部損傷(大) 5万円
- ・川内組法昭寺 本堂一部損傷(大) 10万円
- ・南島組大照寺 本堂一部損傷(大) 10万円
- ・庫裏一部損傷(小) 2万円

また、他教区より見舞金をいただきましたので、ご報告いたします。

- ・新潟教区より 1万円
- ・四州教区より 10万円
- ・四州教区門徒総代会より 4万円
- ・四州教区仏教婦人会連盟より 4万円
- ・四州教区寺族女性連盟より 4万円
- ・福岡教区より 20万円

得度受式

出 水 西照 江崎宗一郎 R 2・7・15
北 隅 幽栖 藤谷 来子 R 2・9・15
北 隅 高陵 加来 真 R 2・9・15
揖 宿 乗船 藤岡 圭 R 2・10・15

敬 弔

謹んでお悔やみ申しあげます

揖 宿 法泉 衆徒 細川 道雄 R 2・9・29 104歳
北 隅 性原 前坊守 安満 壽子 R 2・10・21 85歳
祁答院 信徳 衆徒 藤井 ツギ R 2・11・19 97歳
南薩 淳厚 前坊守 兼廣 スミ R 3・3・17 94歳

社協特別協賛金 尊い浄財を頂戴いたしました

北 隅 性原 香典返し (敬称略)